学ぶ　伸びる　育つ
中央っ子2
やさしく
かしこく
たくましく

第７号
令和６年９月１３日
中央小学校
文責　上原

防災について考える

九月一日は「防災の日」。台風、豪雨、地震、津波などの災害についての認識を深め、備えを充実することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するために制定された防災啓発デーです。そして、その前後一週間を「防災週間」として様々な取組が行われました。

八月末、日本列島を這うように迷走した台風十号は、各地で甚大な被害をもたらしました。予想進路も変わり、猛烈な台風の接近に、心配そして警戒されたことと思います。学校も児童の安全を第一に、二日間の臨時休校となりました。ご理解とご協力を頂き、感謝いたします。

荒尾市内でも、土手から滝のように水が流れたり、道路の側溝から水があふれ出したり、中には通行止めになっている場所もありました。ご自宅等、被害はなかったでしょうか。

日頃からの備えの大切さをあらためて感じました。

学校訪問

九月四日（水）に、荒尾市教育委員会の学校訪問がありました。教育長をはじめ、教育委員、教育委員会事務局の方々に、学校の様子や授業を観ていただきました。

授業参観では、教室に入ってくるお客さんを気にする姿もありましたが、いつも通り頑張っている様子が見られました。

訪問者の方々からは、「どのクラスも落ち着いた様子で学習に取り組んでいた。」「グループ学習で、子どもたちがとても楽しそうに学んでいた。」「先生が笑顔で楽しく授業されているのが印象的だった。」「タブレットなどＩＣＴ機器が効果的に活用されていた。」などの感想をいただきました。

訪問を通しての気づきや助言を、今後の教育活動の充実につなげていきたいと思います。

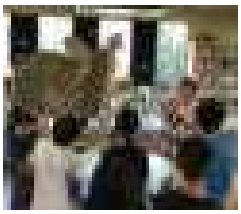
自分たちの手で！

昨年度、初めての試みとして、地域を盛り上げ、感謝の気持ちを伝えることを目的に、六年生児童が主体となって「中央感謝祭」を開催しました。

本年度は、十月十二日（土）に、「第二回　中央感謝祭」を計画しています。

現在、六年部の先生方の指導のもと、六年生児童が主体となって、ステージ部門や出店・体験部門等の企画・準備を進めています。

昨年度の取組をベースに、新しい発想や企画もあり、子ども達の気持ちが込められた楽しい感謝祭になると思います。



実施に向けては、準備段階から、地域の方や地元の商店、企業、業者の方々にご協力いただいており、保護者の皆様にもたくさんの応援の声をいただいています。ありがとうございます。

子どもたちは張り切って準備を進めていますし、貴重な体験と学びの場となります。

当日ぜひ、子どもたちの取組の様子をご覧下さい。

中央小マスコットキャラクター

© 2024 荒尾市立中央小学校

児童会の運営委員が中心となって、中央小のマスコットキャラクターを募集し、子どもたちからのたくさんの応募の中から決定しました。

六年生の土藏春乃さんの原画をもとに、保護者でグラフィックデザイナーの大木さんにご協力いただき、完成しました。

愛称は、三年生の玉屋心菜さんが考えてくれた「くまたん」。

ヘッドライトが中央小の「中」になっており、学校探検が好きで、大きなあいさつが特長です。首から提げている笛は、安全を守るためのもので、危ないときに吹いて知らせてくれます。

これからいろいろな場面での活躍が期待されています。みんなで大切にしていきたいと思います。